

○千葉県地域防災計画【第1編 総則】

担当部署名 ページ	修正理由	修正案	現行
危機管理政策課 総-2-1	名称の統一	第2章 計画の基本的な考え方 第2節 地域防災力の向上 (略) また、これらの取組みの推進に当たっては、 <u>新型コロナウイルス感染症など</u> 感染症への対策を講じていく。	第2章 計画の基本的な考え方 第2節 地域防災力の向上 (略) また、これらの取組みの推進に当たっては、 <u>新型コロナウイルス感染症など</u> 感染症への対策を講じていく。
多様性社会推進課 総-2-2	能登半島地震の対応を踏まえて修正	第2章 計画の基本的な考え方 第3節 要配慮者及び男女共同参画の視点 (略) また、東日本大震災や <u>令和6年1月の能登半島地震において</u> 、避難所生活における更衣室の設置や女性に必要な物資の配布をはじめとした、 <u>様々な場面における女性への配慮の必要性が改めて認識されたところであり、防災分野における女性の参画拡大等の一層の推進が求められる。さらに、性的マイノリティの方への配慮など、多様な視点に立つことも必要とされる。</u> 被災時における男女のニーズの違い等、男女双方の視点に配慮した災害対策を進めるため、防災に関する政策・方針決定過程及び防災の現場における女性の参画を拡大するとともに、男女共同参画 <u>その他</u> の多様な視点を取り入れた防災体制の確立を図るものとする。	第2章 計画の基本的な考え方 第3節 要配慮者及び男女共同参画の視点 (略) また、東日本大震災では、避難所生活における更衣室の設置や女性に必要な物資の配布をはじめとし、様々な場面における女性への配慮の必要性が改めて認識されたところである。被災時における男女のニーズの違い等、男女双方の視点に配慮した災害対策を進めるため、防災に関する政策・方針決定過程及び防災の現場における女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立を図るものとする。
関東総合通信局 総-3-2	文言追加	(関東総合通信局) 3 災害対策用移動通信機器、 <u>臨時災害放送局用設備</u> 及び災害対策用移動電源車の貸し出しに関すること	(関東総合通信局) 3 災害対策用移動通信機器及び災害対策用移動電源車の貸し出しに関すること
銚子地方気象台 総-3-4	文言修正	第3章 防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱 (東京管区気象台) 1 気象、地象、 <u>地動及び</u> 水象の観測 <u>並びに</u> その成果の収集 <u>及び</u> 発表に関すること 2 気象、地象(地震にあつては、発生した断層運動による地震動に限る) <u>及び</u> 水象の予報 <u>並びに</u> 警報等の防災 <u>気象</u> 情報の発表、伝達及び解説に関すること 3 気象業務に必要な観測、予報及び通信施設の整備に関すること	第3章 防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱 (東京管区気象台) 1 気象、地象、水象の観測及びその成果の収集、発表に関すること 2 気象、地象(地震にあつては、発生した断層運動による地震動に限る)、 <u>水象の予報</u> ・警報等の防災情報の発表、伝達及び解説に関すること 3 気象業務に必要な観測、予報及び通信施設の整備に関すること

担当部署名 ページ	修正理由	修正案	現行
		4 地方公共団体が行う防災対策に関する技術的な支援・助言に関する 5 防災気象情報の理解促進、防災知識の普及啓発に関する	4 地方公共団体が行う防災対策に関する技術的な支援・助言に関する 5 防災気象情報の理解促進、防災知識の普及啓発に関する
危機管理政策課 総-3-6	組織改正のため	第3章 防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱 【指定公共機関】 (<u>東京ガス(株)</u> 、東京ガスネットワーク(株)) (福山通運(株)、佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)、西濃運輸(株)、 <u>(一社) A Z - C O M 丸和・支援ネットワーク</u>) 災害時における物資の輸送に関する (<u>(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構</u>) <u>被災鉄軌道施設の災害復旧の支援に関する</u> 【指定地方公共機関】 京葉瓦斯(株)、大多喜ガス(株)、房州瓦斯(株)、京和ガス(株)、銚子瓦斯(株)、野田ガス(株)、角栄ガス(株)、 <u>東日本ガス(株)</u> 、 <u>総武ガス(株)</u> 、 <u>日本瓦斯(株)</u> 、(公社)千葉県LPガス協会、 <u>(株) エナジー宇宙</u> ガス施設の防災対策及び災害時における供給対策に関する	第3章 防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱 【指定公共機関】 (東京ガスネットワーク(株)) (福山通運(株)、佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)、西濃運輸(株)) 災害時における物資の輸送に関する (新規) 【指定地方公共機関】 京葉瓦斯(株)、大多喜ガス(株)、房州瓦斯(株)、京和ガス(株)、銚子瓦斯(株)、野田ガス(株)、角栄ガス(株)、 <u>東日本ガス(株)</u> 、 <u>総武ガス(株)</u> 、 <u>日本瓦斯(株)</u> 、(公社)千葉県LPガス協会、 <u>(新規)</u> ガス施設の防災対策及び災害時における供給対策に関する
総-3-7	指定・解除に伴う		
総-4-1		表1 千葉県の地勢一覧(千葉県勢要覧 令和 <u>5</u> 年度版) <u>時点修正による修正</u>	表1 千葉県の地勢一覧(千葉県勢要覧 令和 <u>2</u> 年度版)
国土地理院関東 地方測量部	面積の修正	面積 5,15 <u>6.48</u> km ² (<u>令和6年7月1日現在</u>)	面積 5,15 <u>7.57</u> km ²

防災対策課 災害対策室 総-4-9		時点修正のため	第4章 地勢概要等								第4章 地勢概要等								
			5 過去の災害								5 過去の災害								
			(1) 千葉県が影響を受けた主な地震・津波災害（江戸時代以降）								(1) 千葉県が影響を受けた主な地震・津波災害（江戸時代以降）								
番号	西暦年月日 （日本歴）	震央		マグニチュード	県内最大震度	地震	津波	人命・家屋等の被害	番号	西暦年月日 （日本歴）	震央		マグニチュード	県内最大震度	地震	津波	人命・家屋等の被害		
		東経北緯	震央地名								東経北緯	震央地名							
	15	2011. 3. 11 （平成 23 年）	142.9 38.1	三陸沖	9.0	6弱	東京湾岸の埋立地や利根川沿いの低地等においては、長く続いた地震の揺れにより地盤の液状化が発生した。 市街地では、地震時、建物は ゆっくりと大きく揺れ、道路では敷地等の境がずれるように水平移動を繰り返し、間もなく地面から大量の泥水が湧き出した。 マンホールは歩道の真ん中で大きく突出し、電柱や信号機は傾き、沈み込んだ。泥水の噴出とともに、戸建等の住宅が ゆっくりと沈み込み、各地で噴砂、沈み込み、浮き上がり、抜け上がり、地波等の様々な液状化被害が発生した。 水道、下水道等のライプラインも、液状化により至る所で管が破壊された。	津波観測点「銚子」では押波による第一波を15時13分に観測。17 時 22 分に津波の最大の高さ2.5mを観測した。 潮位計のデータでは、13 日以降も津波による潮位変化が観測されている。 九十九里地域に押し寄せた津波は、山武市では海岸線から3km近くの陸域にまで到達し、利根川では河口から 18.8kmまで遡上、浸水面積は九十九里地域（銚子市～いすみ市）で 23.7k㎡に達した。 この津波は、旭市飯岡地区に甚大な被害をもたらした。海岸防衛ラインの背後に砂丘や保安林のないこの地区に、7.6mと推定される第 3 波の津波が襲来し、県民の生命・財産を奪い去った。	令和 6 年 6 月 30 日現在 死者 22 名（うち、津波による死者 14 名（旭市 13 名、山武市 1 名）、行方不明者 2 名（津波による）、負傷者 270 名。 建物全壊 807 棟、半壊 10,313 棟、一部損壊 57,523 棟 、建物火災 15 件、床上浸水 61 棟、床下浸水 455 棟。 水道断水 177,254 戸、減水 129,000 戸。 下水道 24,300 戸で使用制限。 ガス 8,631 戸で停止。 電気 347,000 戸で停電。 国道、県道で全面通行止め 33 カ所、片側通行規制 12 カ所。 農業施設の損壊 2,257 カ所ほか。 漁船転覆・乗り上げ等 390 隻。 石油コンビナート爆発事故（市原市）。 福島第一原発事故による計画停電、放射性物質に伴う農林水産物の出荷制限や観光等の風評被害、上下水道施設や一般廃棄物処理施設から発生される焼却灰や汚泥からも高濃度の放射性物質が検出された。		15	2011. 3. 11 （平成 23 年）	142.9 38.1	三陸沖	9.0	6弱	東京湾岸の埋立地や利根川沿いの低地等においては、長く続いた地震の揺れにより地盤の液状化が発生した。 市街地では、地震時、建物は ゆっくりと大きく揺れ、道路では敷地等の境がずれるように水平移動を繰り返し、間もなく地面から大量の泥水が湧き出した。 マンホールは歩道の真ん中で大きく突出し、電柱や信号機は傾き、沈み込んだ。泥水の噴出とともに、戸建等の住宅が ゆっくりと沈み込み、各地で噴砂、沈み込み、浮き上がり、抜け上がり、地波等の様々な液状化被害が発生した。 水道、下水道等のライプラインも、液状化により至る所で管が破壊された。	津波観測点「銚子」では押波による第一波を15時13分に観測。17 時 22 分に津波の最大の高さ2.5mを観測した。 潮位計のデータでは、13 日以降も津波による潮位変化が観測されている。 九十九里地域に押し寄せた津波は、山武市では海岸線から3km近くの陸域にまで到達し、利根川では河口から 18.8kmまで遡上、浸水面積は九十九里地域（銚子市～いすみ市）で 23.7k㎡に達した。 この津波は、旭市飯岡地区に甚大な被害をもたらした。海岸防衛ラインの背後に砂丘や保安林のないこの地区に、7.6mと推定される第 3 波の津波が襲来し、県民の生命・財産を奪い去った。	令和 3 年 8 月 6 日現在 死者 22 名（うち、津波による死者 14 名（旭市 13 名、山武市 1 名）、行方不明者 2 名（津波による）、負傷者 270 名。 建物全壊 807 棟、半壊 10,312 棟、一部損壊 57,449 棟 、建物火災 15 件、床上浸水 61 棟、床下浸水 455 棟。 水道断水 177,254 戸、減水 129,000 戸。 下水道 24,300 戸で使用制限。 ガス 8,631 戸で停止。 電気 347,000 戸で停電。 国道、県道で全面通行止め 33 カ所、片側通行規制 12 カ所。 農業施設の損壊 2,257 カ所ほか。 漁船転覆・乗り上げ等 390 隻。 石油コンビナート爆発事故（市原市）。 福島第一原発事故による計画停電、放射性物質に伴う農林水産物の出荷制限や観光等の風評被害、上下水道施設や一般廃棄物処理施設から発生される焼却灰や汚泥からも高濃度の放射性物質が検出された。

防災対策課 災害対策室 総-4-9	時点修正のため	16	2012.3. 14 (平成 24 年)	14 0.9 35. 7	千葉 県東 方沖	6.1	5強	銚子市市道の一部 で、液状化による噴砂 等が発生した。	県内で死者 1 名、負傷者 1 名、家屋 の半壊 2 棟、一部損壊 219 棟の被害 がでた。その他、銚子市では ブロッ ク塙等が 4 か所で倒壊、また銚子市 及び香取市において、一時、約 14,800 軒以上に 断水が発生した。	16	2012.3. 14 (平成 24 年)	14 0.9 35. 7	千葉 県東 方沖	6.1	5強	銚子市市道の一部 で、液状化による噴砂 等が発生した。	県内で死者 1 名、負傷者 1 名、家屋 の半壊 2 棟、一部損壊 219 棟の被害 がでた。その他、銚子市では ブロッ ク塙等が 4 か所で倒壊、また銚子市 及び香取市において、一時、約 14,800 軒以上に 断水が発生した。		
		17	2018. 7. 7 (平成 30 年)	14 0.6 35. 1	千葉 県東 方沖	6.0	5弱		被害なし	17	2018. 7. 7 (平成 30 年)	14 0.6 35. 1	千葉 県東 方沖	6.0	5弱		被害なし		
		18	2019. 5. 25 (令和元年)	14 0.3 35.2	千葉 県北 東部	5.1	5弱		県内で軽傷者 1 名(千葉市) <u>家屋の一部損壊 5 棟</u>	18	2019. 5. 25 (令和元年)	14 0.3 35.2	千葉 県北 東部	5.1	5弱		県内で軽傷者 1 名(千葉市) <u>(新規)</u>		
		19	2020.6.25 (令和 2 年)	14 1.1 35. 5	千葉 県東 方沖	6.1	5 弱		県内で重傷者 1 名(市原市)、軽傷者 1 名(いすみ市) <u>家屋の一部損壊 7 棟</u>	19	2020.6.25 (令和 2 年)	14 1.1 35. 5	千葉 県東 方沖	6.1	5 弱		県内で重傷者 1 名(市原市)、軽傷者 1 名(いすみ市) <u>(新規)</u>		
		<u>20</u>	<u>2021.10.7</u> (令和 3 年)	<u>14</u> <u>1.1</u> <u>35. 5</u>	<u>千葉</u> <u>県北</u> <u>西部</u>	<u>5.9</u>	<u>5 弱</u>	<u>市原市で潮水が発生</u> <u>(1か所)</u>	<u>県内で重傷 2 名(木更津市、習志野</u> <u>市)、軽傷者 12 名</u> <u>袖ヶ浦市の危険物施設で火災が発</u> <u>生(負傷者なし)</u>	<u>(新規)</u>									
		<u>21</u>	<u>2023.5.11</u> (令和 5 年)	<u>14</u> <u>0.3</u> <u>35. 2</u>	<u>千葉</u> <u>県南</u> <u>部</u>	<u>5.2</u>	<u>5 強</u>		<u>県内で軽傷者 6 名、住家の一部損</u> <u>壊 16 棟</u>	<u>(新規)</u>									
		<u>22</u>	<u>2023.5.26</u> (令和 5 年)	<u>14</u> <u>0.3</u> <u>35. 2</u>	<u>千葉</u> <u>県東</u> <u>方沖</u>	<u>6.2</u>	<u>5 弱</u>		<u>県内で住家の一部損壊 1 棟</u>	<u>(新規)</u>									
		防災対策課 災害対策室 総-4-11	時点修正のため	(2) 風水害								(2) 風水害							
災 害 原 因	発生日月			被 害 の 概 要						がけくずれ 発 生 件 数	災 害 原 因	発生日月	被 害 の 概 要						がけくずれ 発 生 件 数
				人的被害・人		住 家 被 害 ・ 戸							人的被害・人		住 家 被 害 ・ 戸				
				死者	負傷者	全 壊	半 壊	床 上 浸 水	床 下 浸 水				死者	負傷者	全 壊	半 壊	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
台 風 9 号	平成 22 年 9 月 8 日			—	1	—	—	114	191	—	台 風 9 号	平成 22 年 9 月 8 日	—	1	—	—	114	191	—
台 風 15 号	平成 23 年 9 月 20 日			—	23	—	—	1	3	1	台 風 15 号	平成 23 年 9 月 20 日	—	23	—	—	1	3	1
野 田 市 竜 巻 災 害	平成 25 年 9 月 2 日			—	1	1	5	—	—	—	野 田 市 竜 巻 災 害	平成 25 年 9 月 2 日	—	1	1	5	—	—	—

防災対策課 災害対策室 総-4-12	時点修正のため	台風 26 号	平成 25 年 10 月 15 日	1	22	6	9	1,489	2,794	34	台風 26 号	平成 25 年 10 月 15 日	1	22	6	9	1,489	2,794	34
		平成 26 年 大雪被害	平成 26 年 2 月 8 日	2	450	0	0	0	0	0	平成 26 年 大雪被害	平成 26 年 2 月 8 日	2	450	0	0	0	0	0
		平成 26 年 大雪・大雨 洪水	平成 26 年 2 月 14 日 ～15 日	0	96	0	0	0	0	0	平成 26 年 大雪・大雨 洪水	平成 26 年 2 月 14 日 ～15 日	0	96	0	0	0	0	0
		台風 18 号	平成 26 年 10 月 5 日	2	14	0	1	4	30	9	台風 18 号	平成 26 年 10 月 5 日	2	14	0	1	4	30	9
		房総半島 台風（＊）	令和元年 9 月 9 日	12	91	448	4,694	8	42	6	房総半島 台風（＊）	令和元年 9 月 9 日	12	91	448	4,694	8	42	6
		東日本 台風（＊）	令和元年 10 月 12 日	1	25	32	379	0	33	0	東日本 台風（＊）	令和元年 10 月 12 日	1	25	32	379	0	33	0
		10 月 25 日 の大雨（＊）	令和元年 10 月 25 日	12	11	34	<u>1,889</u>	173	542	30	10 月 25 日 の大雨（＊）	令和元年 10 月 25 日	12	11	34	<u>1,890</u>	173	542	30
		<u>台風第 13 号</u> <u>の接近に伴う</u> <u>大雨</u>	<u>令和 5 年</u> <u>9 月 8 日</u>	<u>0</u>	<u>5</u>	<u>4</u>	<u>203</u>	<u>709</u>	<u>1,372</u>	<u>26</u>	（新規）								
		※人的被害の死者には、行方不明者を含む。 * <u>房総半島台風（令和2年9月30日現在）、東日本台風（令和3年1月21日現在）、10月25日の大雨（令和2年10月23日現在）の数値となります。</u>									※人的被害の死者には、行方不明者を含む。 * <u>房総半島台風、東日本台風及び10月25日の大雨の被害の概要は、令和3年1月21日現在の数値となります。</u>								